
LosT falrY siGn -ロスト フェアリー サイン-

御巫時雨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Lost fairy sign - ロスト フェアリー サイン -

【Nコード】

N4208K

【作者名】

御巫時雨

【あらすじ】

人体に”妖精”を宿すことで、人間は奇跡の力である「魔法」を扱えるようになった。

そんな世界。

一人の少年は、”学園の面汚し”と呼ばれ
薄紅色の花が咲き誇る季節に
帝都立騎士学園を卒業する。

0* : 森の深き所で（前書き）

誤字脱字は忠告ください。

理解しにくい、描写が少ない気が…と自分も思っています。

辛口レビューなど全然OK。むしろください。Mさんではありませんせんけど

0* : 森の深き所で

「はあっ！」

短い掛け声とともに、鉛色の軌跡が一水面>みなもくに映る。

ようやく日が昇り始めた時間帯に、誰もいない林の中、たった一人
で”それ”は行われていた。

まぶしい程の光を背に、目の前に縦の軌跡を作りだす。
ただただ、その一閃。その一閃を繰り返す。

背から差し込む神秘的な光は、飛び散る汗に虹色の輝きを与えていて、
一定間隔で空を切る音につられ、その水滴たちも空を舞う。

そんな幻想の中、ぴたりと動作が止まり、体を崩す。

「ふう…、そろそろ時間かな？」

手に握っていた剣を鞘に納め、近くにかけてあった上着を掴むと、
林の中へと消えていった。

0* : 森の深き所で（後書き）

まだ未完成。

はじめて書く小説なんで完結はいつになることやら…
使い方もわからないので時間がかかります。
それでもよろしく願います

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4208k/>

LosT falrY siGn -ロスト フェアリー サイン-

2010年10月9日04時12分発行